

第2回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 意見一覧（アンケートについて）

番号	項目	意見内容	対応																											
1	学生アンケートについて	設問14で、「できれば他市町村に移転したい。」が20.7%、「すぐにでも他市町村へ移転したい。」が11.2%と高いことに衝撃を受けました。これをどのように考えますか。	若い方は、都会への憧れが強いのだらうと思います。市としては、進学等により一旦は外へ出られても、地元へ帰ってきてもらえるような施策を講じたいと考えます。 また、瑞浪市に住み続けたいと思うかについて、「わからない。」という学生が多いことから、こういう学生たちに瑞浪市に住み続けてもらうことが大切だと思います。																											
2	学生アンケートについて	設問3では、市外から通う学生が約500名ということですが、都市部から通う学生について、どこから通っているか把握していますか。	東濃5市以外から通う学生について、どこの市町村から通学しているかは把握していません。																											
3	市民アンケートについて	市民アンケートの回答は、60代、70代以上が全体の57%と高齢者の回答率が高く、年金世代が多いという結果になっていますが、無作為抽出では、年齢構成は考慮されましたか。	2,000人を無作為抽出しているため、年代は考慮していません。アンケート依頼時の年代構成比率は、人口の構成比率と同様。次回の審議会で、アンケートを依頼した人数を年代ごとにお示しします。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>抽出数(率)</th> <th>回答数(率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20代</td> <td>: 151(7.6%)</td> <td>43(28.5%)</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>: 244(12.2%)</td> <td>88(36.1%)</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>: 351(17.6%)</td> <td>89(25.4%)</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>: 284(14.2%)</td> <td>129(45.4%)</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>: 375(18.7%)</td> <td>202(53.9%)</td> </tr> <tr> <td>70代以上</td> <td>: 595(29.7%)</td> <td>266(44.7%)</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>:</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>: 2,000(100%)</td> <td>820</td> </tr> </tbody> </table>		抽出数(率)	回答数(率)	20代	: 151(7.6%)	43(28.5%)	30代	: 244(12.2%)	88(36.1%)	40代	: 351(17.6%)	89(25.4%)	50代	: 284(14.2%)	129(45.4%)	60代	: 375(18.7%)	202(53.9%)	70代以上	: 595(29.7%)	266(44.7%)	無回答	:	3	合計	: 2,000(100%)	820
	抽出数(率)	回答数(率)																												
20代	: 151(7.6%)	43(28.5%)																												
30代	: 244(12.2%)	88(36.1%)																												
40代	: 351(17.6%)	89(25.4%)																												
50代	: 284(14.2%)	129(45.4%)																												
60代	: 375(18.7%)	202(53.9%)																												
70代以上	: 595(29.7%)	266(44.7%)																												
無回答	:	3																												
合計	: 2,000(100%)	820																												
4	市民アンケートについて	設問22まちの現状では、H25～H27の市民満足度を比較すると、「働きやすいまち」以外は、年々満足度が下がってきています。これは、今年度抽出数を増やしたためなのか。このあたりは、どう考えますか。	市民満足度は、新たな施策を打ち出すと一気に上がる傾向があります。今年度の結果のみで市の施策を評価することはできません。アンケートは、今後も毎年とり続け、継続的な評価をしたいと思います。 「働きやすいまち」が上がってきたのは、最近では企業誘致を積極的に進めていることや、商工会議所と連携したスマイル券、商品券などの施策により、市内の事業者にも効果のある施策を行っていることが要因の一つと考えます。																											

第2回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 意見一覧（人口ビジョンについて）

番号	項目	意見内容	対応
1	市の人口ビジョンについて (パターン3)	第6次瑞浪市総合計画で示した目標人口は、社人研や創成会議の推計人口よりもかなり高い目標ですが、何かアイデアがあって導き出しているのですか。	正直なところ、大変厳しい目標だと思っています。アイデアがあって導き出したというより、効果的な施策を講じる中で、人口減少に歯止めをかけたいということです。 第6次瑞浪市総合計画では、平成35年までに人口4万人を維持する目標を掲げています。

第2回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 意見一覧（総合戦略について）

番号	項目	意見内容	対応
1	移住定住の推進	土地の転用について相談を受けることがよくあります。特に田などの農地転用について、市民の皆さんはあまりご存じないことが多いです。また、空き家を紹介しようにも、かえって空き家が残っている土地は、修繕費等により、通常の宅地より高くつくこともあります。壊す必要がある場合は、所有者が壊すこととなり、土地代がタダと同然になってしまうケースがあります。 提案として、相続や様々な市民の移住定住のケースに相談に乗ってもらえる窓口業務があるとわかりやすいと思います。	「移住定住相談事業」というように、市民の皆さんにとって、相談に乗ってもらえる事業があることがわかるように、事業を加えます。
2	婚活支援事業	出生率を上げるためには、結婚してもらわないといけない。一時、婚活パーティーや街コンなどが流行りました。市内でも瑞浪カントリーさんが「ゴルフコン」(ゴルフで婚活コンパ)などを実施されていた。全国的に良い事例はたくさんあるので、よく調べていただき、中身のある婚活支援を実施していただきたい。	検討します。
3	ポーク販売路拡大事業	有名な雑誌、グルメ雑誌等で特集を組んでもらうなど、メディアを活用すると効果が高いと思われます。	ポークに限らず、市の様々な施策をPRすることについて有効な手段を検討します。
4	自治会加入促進事業	市民に対して、自治会に加入するよう、効果的な施策としていただきたい。区長会に任せたいというような施策にならないようお願いしたい。	まちづくり基本条例においても、「住民は、原則として自治会に加入するものとする。」としています。区長会任せにしないよう、市の施策として位置付けます。
5	子育て支援の充実	子どもが高校生になると、金銭的に一層負担が重くなります。医療費の無料化など、この世代の子育て支援策を何とかしていただきたい。	市としては、まずは義務教育までの子育て支援を充実させたいことから、これまで取り組んできています。しかし、ご提案のとおり、高校生世代の子育て支援策があまりないので、重要な課題であり、検討します。 無料ではなく、何割かを助成するなど、方法はいろいろあるので、検討します。

6	ママ・カフェギャラリー支援事業	多治見市には、既にあると聞いています。瑞浪市ももっと早くできていればよかったと思います。	出来るだけ早く実現できるよう取り組みます。															
7	学習環境の充実	中学校が統合することによって、親の負担が増えることが懸念されます。基本目標2の数値目標に、「学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えているまちだと感じる市民の割合」というのがありますが、家庭の負担が増え、今後一層便利のいい中心市街地に人口が集中するということが懸念されます。	もちろん、統合に関してメリット・デメリットはあります。家庭の負担が増えることも避けられませんが、その負担を軽減する努力をしたいと思います。市は、「教育環境の充実したまち」ということをアピールしているところなので、その魅力が半減しないよう、可能な措置を検討します。地域との連携による家庭の負担の軽減も検討します。															
8	婚活支援事業	市内で、結婚適齢期の未婚の方がどのくらい見えるのか把握していますか。また、その中で、結婚を望んでおられる方がどのくらい見えるのか把握していますか。 婚活事業をより効果的に実施するために、できるだけ様々なデータにより、未婚の方の趣向に合う事業を展開することを期待します。	結婚適齢期の未婚の方の数は把握しているので、次回報告します。未婚の方の意向を把握することは困難です。事業を効果的に実施するための事業内容については、検討します。 ※平成22年国勢調査 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>未婚男性</th> <th>未婚女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20代</td> <td>1,541人</td> <td>1,359人</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>1,059人</td> <td>573人</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>512人</td> <td>265人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,112人</td> <td>2,197人</td> </tr> </tbody> </table>		未婚男性	未婚女性	20代	1,541人	1,359人	30代	1,059人	573人	40代	512人	265人	合計	3,112人	2,197人
	未婚男性	未婚女性																
20代	1,541人	1,359人																
30代	1,059人	573人																
40代	512人	265人																
合計	3,112人	2,197人																
9	移住定住の推進	瑞浪市は、陶芸家などにとって移住しやすい環境だと思います。陶芸家は、生計を立てられるようになるまで時間がかかるため、支援策として、相談に乗ってもらうなど、有効な施策だと思われます。移住策は、全国的にどこのまちでも取り組んでいますが、代わり映えがしないと効果がないと思います。瑞浪市は、焼き物のまちとして魅力があり、ニーズはあると思います。	確かに陶芸家の移住相談は多いです。具体的には、大湫町では、町を上げて陶芸家などの移住を受け入れて見えます。今後は、ワンストップで対応できるよう「移住定住相談事業」として窓口業務を加えます。															
10	若者へのPR	アンケートの「まちづくり基本条例を知っていますか。」のように、ほとんどの若者が知らないことが多いです。施策についても、折角良い事業を行っていても、知らない若者が多ければ効果が半減します。是非、重点戦略に「若者への周知」を取り入れてはどうかと思います。 今後、移動(転出等)の可能性のある若者に対して、特に若者が望んでいる施策を若者に周知するべきと考えます。	ご指摘のとおりと考えます。これまでのような一律の情報発信では、若者は興味を持ってくれません。どのように伝えるかは課題であり、検討します。															

11	農地中間管理事業	<p>市民農園は、現在どのようになっていますか。 耕作放棄地の削減や高齢者の生きがいづくりのためにも、需要があるのであれば活用の幅を広げることにはできないでしょうか。</p>	<p>市民農園は、遊休農地の活用という観点で農業委員会を通じて募集を続けています。しかし、区画整理地内は、本来宅地として活用していただくことが望ましいと考えます。周辺地域の遊休農地の活用を継続します。</p>
12	創業支援事業計画推進事業	<p>創業支援を一層充実させることは、大変重要と考えます。10年、20年先を見通すことは大切なことであり、金融業界としても、市役所、商工会議所と連携し、協力できることについて調整しています。今後も引き続き、どのような協力ができるか検討したい。 また、創業支援には、第2創業も含まれると思いますが、今、課題と言えるのは、事業承継であると思います。難しい問題ですが、後継者育成に悩む事業所は多いです。金融業界としても協力できることがあれば協力したい。</p>	<p>確かに、後継者不足に悩む経営者の声も聞かれます。現在は、新規創業、第2創業の支援を考えているところですが、ご指摘のとおり、将来的には考えなければならないと思います。検討課題とします。</p>
13	婚活支援事業	<p>私の周りでも未婚、独身の方がいますが、婚活支援事業のことを知らない方が多いです。効果的に情報を求める方に情報提供ができる方法を考えたいと思います。 本人ではなく、親同士が婚活パーティーなどに参加する企画もあります。有効な婚活事業を期待します。</p>	<p>このことに限らず、事業のPR不足は否めません。効果的な周知方法を検討します。</p>

瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見（岐阜新聞東濃総局）

番号	項目	意見内容	対応
1	課題の明確化	<p>総合戦略P25からの第2節基本目標では、重点戦略がそれぞれ記載されていますが、重点戦略は何の課題解決のためか不明確に思えました。もちろん、大きな意味では人口減少対策ですが、個別に課題を明確化すると、読み手が分かりやすいように感じました。課題を明確化することと関連し、「重要業績評価指標」がありますが、その数値に市は現状に満足しているのか、それとも課題だと認識しているのか、せつかく数値を出していても意味合いがわかりにくいところがあるように感じました。</p>	<p>数値目標及び重要業績評価指標では、()内に現状値を標記し、平成31年度までに達成すべき目標数値を掲げています。目標数値及び重要業績評価指標は、一部の「現状維持」を除いて、ほとんどの項目で現状値を上回る目標を設定しています。従いまして、市は、数値目標として掲げる市民満足度の向上を課題として捉え、その数値を上げることが人口減少対策につながると考えています。現状値が(0)は、現状値を把握していて、その数値が0であるもの。現状値が(－)は、現状値を把握していないもの、或いは現状の数値が無いものです。これは、注意書きで表記します。</p>
2	文化振興の項目	<p>文化振興についての課題や事業等の項目が1つも無いのが気にかかりました。地歌舞伎や文楽、美濃焼(産業振興面の記載はありましたが)、地域の祭礼、総合文化センターを拠点にした生涯学習活動など、瑞浪には誇るべき地域文化があり、郷土に愛着を持つ市民のアイデンティティーを形成し、文化がよそ者を瑞浪に引き付ける武器にもなり、担い手にもなり得ます。今ある文化を市はどのようにしていくか盛り込んではいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘のように、「郷土に愛着を持つ市民のアイデンティティーを形成し、文化がよそ者を瑞浪に引き付ける武器にもなり、担い手にもなってもらえる」ように、『まちづくり基金事業』を追加し、文化振興、観光資源の魅力向上、まちの活性化等につながる市民参加の手法を検討します。</p>
3	リニア関連への対応	<p>2027年に東京～名古屋間で開業予定のリニア中央新幹線について、沿線自治体なのに何も触れられていないことに違和感がありました。リニア開通は、人口減少対策にとって大きな節目となるはずですが、瑞浪市の振興にどのように活かしていくか、課題や対応が盛り込まれていても良いかと思えます。</p>	<p>リニア中央新幹線の活用につきましては、岐阜県知事を座長とし、県内市町村、関係団体を構成員とする「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会」において、広域的な視点でまちづくり、観光振興、産業振興、基盤整備など様々な分野で具体的な施策を検討しています。現在のところ、瑞浪市におきましては、瑞浪恵那道路(国道19号)の建設促進、企業誘致等の基盤整備分野での取り組み以外に具体化しておらず、総合戦略に位置付けるに至っておりません。総合戦略は、平成27年度から平成31年度までの5年間を対象期間としており、期間内に具体的な施策ができる段階になりましたら、その時点で加えることとします。</p>